

国際保健医療福祉政策セミナー

「転換期を迎える外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れ —EPA 枠組の見直しにむけて—」

【趣 旨】 2008年より、日本は、日本インドネシア経済連携協定（JIEPA）、日本フィリピン経済連携協定（JPEPA）に基づき、この両国から、計1,360名の外国人看護師・介護福祉士候補者を受入れ、国家試験合格に向けての学習や就労に従事させています。この受入れに関しては、来日する外国人看護師・介護福祉士候補者と、受入れをする病院・施設側との、日本での就労に関する期待・思惑の食い違いや、国家試験の合格者数が少ないこと、受入れ病院・施設側の経済的・人的な負担が大ききこと等が指摘されています。この現状に対して、受け入れ側や候補者達の実情を踏まえた持続可能な政策とすることが問われています。本セミナーでは、2007年より国立インドネシア大学、国立フィリピン大学の教員らと共同研究を行っている日本人の研究者が、様々な学際領域から EPA 政策に関する最新の調査データを報告します。また、政策担当者や候補者の受入れ施設、EPA 枠外で外国人看護師を導入した経験を持つ関係者らに、それぞれの視点から EPA の現状と今後の課題について話題提供していただきます。2012年から協定見直しの政府間作業が本格化することを踏まえ、これまでの送出し、受入れに関する諸問題を多面的に明らかにしつつ、協定見直しのための方向性を探ります。

■日 時：2012年3月5日（月）午後1時～5時（受付 12:30～）

■場 所：長崎大学東京事務所セミナー室（東京都千代田区）

■主 催：長崎大学・「経済連携協定（EPA）による外国人看護師・
介護福祉士候補者の受入れに関する調査」研究班

■共 催：京都大学東南アジア研究所

参加費無料

- 先着30名
- 申込方法は裏面へ

【スケジュール】

第一部（調査報告）13:10-14:10 司会：熊本学園大学社会福祉学部 教授 小川全夫

「転換期を迎える外国人看護師の受入れ—来日前から国家試験合格後を見据えた長期的展望から」
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 平野裕子

「EPA 制度下での介護福祉士受入れに関する問題—介護福祉士受入れ枠組の展望」

九州大学大学院法学研究院 准教授 小川玲子

「現行 EPA 制度における外国人看護師・介護福祉士受入れ側の抱える問題点
—経済的側面に関する調査から」

明治大学農学部 客員教授 坪田邦夫

「フィリピン人・インドネシア人看護師の看護師国家試験の得点に関するデータ解析
—日本人受験者との点数分布の比較から」

産業医科大学産業保健学部 教授 川口貞親

「看護・介護分野における諸外国の移民受入制度・政策から学ぶもの
—<日本型受入れモデル>の構築に向けて」

京都大学東南アジア研究所 特任教授 大野 俊

第二部（ワークショップ）14:20-17:00 司会：熊本学園大学社会福祉学部 教授 小川全夫

話題提供者：外務省 南部アジア部南東アジア第二課交渉官 山口 勇

厚生労働省 職業安定局経済連携協定受入対策室室長 弓 信幸

特定非営利活動法人 AHPネットワークス専務理事 二文字屋 修

社会福祉法人 聖隷福祉事業団理事 石岡 晃

※ワークショップ後半では、「看護」「介護」グループに分かれ、EPA 制度が直面している具体的なトピックを取り上げて、参加者全員でブレインストーミングを行います。また、セミナー後、懇親会（17:00-19:00）を行いますので、皆様どうぞ参加ください。

国際保健医療福祉政策セミナー

「転換期を迎える外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れ—EPA 枠組の見直しにむけて—」

◆ 参加申込票 ◆

ご所属名	
T E L	
F A X	
ご氏名	

◆申込期日：2012年3月2日（金）

ただし、先着30名になりましたら期日前でも締め切ります。

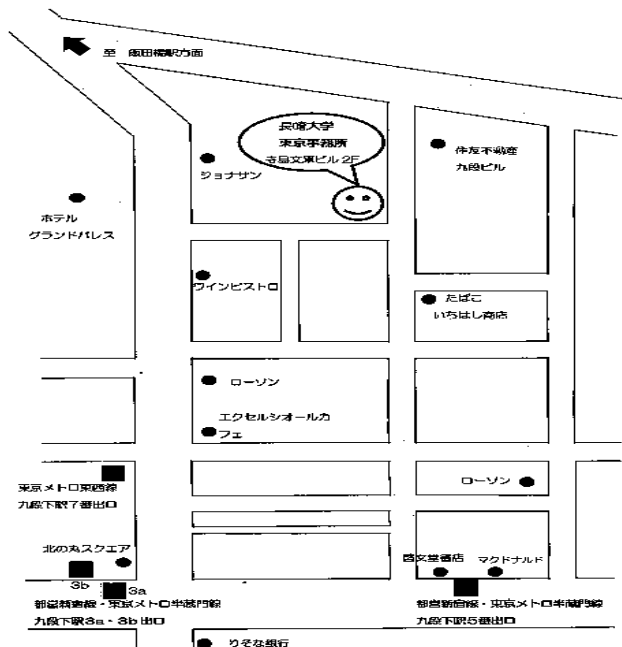
◆受講決定通知はありません。定員に漏れた場合のみ FAX にてご連絡します。

◆セミナー当日は、本用紙を必ずご持参ください。

【問合先】長崎大学平野研究室 TEL/FAX：095-819-7940

【申込先】長崎大学東京事務所

TEL：03-6268-9116 FAX：03-3556-9107



～長崎大学東京事務所アクセスマップ～

※東京メトロ半蔵門線・都営新宿線九段下駅
3a・3b・5番出口 徒歩5分

※東京メトロ東西線7番出口 徒歩3分